

BUNKA FASHION COLLEGE

SUMIRE KAI

文化服装学院 すみれ会(同窓会) 会報誌



NEWSLETTER
OF
SUMIRE-KAI



2020
NO 60

2019年度文化祭I部ファッションショーより

文化服装学院 すみれ会(同窓会) すみれ会報

CONTENTS

- 01 すみれ会会長あいさつ
- 02 すみれ会名誉会長インタビュー
- 04 すみれ会の活動報告
 - すみれ会奨学金／寄付のお願い
 - すみれ会総会／すみれ市
- 06 すみれサロン(卒業生紹介)
- 08 会員の活躍
- 10 文化服装学院の今
 - 2019年度文化祭
 - ニュース
 - コラボレーション
 - コンテスト
- 18 インフォメーション
 - 会計報告／2020年度すみれ会総会・パーティ・文化祭中止のお知らせ
 - 会員手続きについて／すみれ会会員特典
 - 文化学園服飾博物館展示のご案内／文化服装学院 教員採用情報

すみれ会会長あいさつ

Message

基礎を勉強する大切さを理解し、次の時代の新しいファッションやライフスタイルに合わせた進化、考え方に発展させていくことが大切です

秋の気配を感じる季節になりました。新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息してほしいと願う今日ですが、会員の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

さて、昨今はコロナウイルスに関する暗い話題で持ちきりです。突如現れたウイルスが世界中に広がり、日本でも感染拡大につれて外出自粛や経済活動の休止などが行われ、それに伴い様々な問題が深刻化しています。そして例年とは違った日々を過ごしているせいか、街の景色も変わってしまったように感じます。

私たちのファッション業界においては、たった半年でこれまでの流通形態が根底から崩れ、これまでの流通でなくなっていく中でその激しい変化に振り回されており、皆さまも大変な状況に身を置かれていると思います。このような状況下において今できること、今だからこそすべきことを考えますと、まずは、コロナ以前から一部で不安視されていた「オーバーストア」について修正していく必要性を感じます。地域の人口と需要に対して、適正な店舗数と商品在庫に調整していく時期なのです。在庫の廃棄や環境問題がビジネスの悪化につながり、これまでの常識が常識でなくなることも多いでしょう。また、コロナウイルスが終息した後、今までと違う生活様式が生まれた時にファッションビジネスも大きく変わるでしょう。今まさにそのような状況が目の前にきており、対応が迫られています。未来を見据えた変化と進化が私達ファッション業界に求められているのです。次の時代のファッションを創っていくためにも、今だからこそしっかり改革を進めながら新しい時代に進んでいってほしいと思います。

在校生におかれましてもこれまでとは違う環境で日々生活していることと思いますが、基本的にファッション業界はなくなることはないだろうと私は思っております。厳しい環境下でも、新しいマーケット、ファッション、ライフスタイルは生まれてくるものなのです。これからの時代で大切なことはアイデアだけではありません。目先のことを追いかけてきた時代が見直される今、このような時だからこそ洋服の知識やパターン、縫製技術など大切な要素は様々ありますが、それらの基礎の勉強の大切さを理解し、次の時代の新しいファッションやライフスタイルに合わせた進化、考え方に発展させていくことが大切です。皆さんが今できることはしっかりと知識を学び、身につけることです。これはこれからの時代をつくっていく上でとても重要なことなので、学業自体は派手なものではないですが、地道にコツコツ知識を積み重ねてもらいたいです。時間はかかるでしょうが、いずれ新型コロナウイルスも終わりは見えてきます。その時にこれまで学んだことを十分に発揮できるようなベースづくりを今こそしっかり行ってほしいと願っています。



佐藤 正樹 氏
すみれ会会長
佐藤繊維株式会社
代表取締役

すみれ会名誉会長インタビュー

Interview

“文化服装学院の今”について、またすみれ会の活動について、相原幸子学院長にお話いただきました。

— 新型コロナウイルス感染症の影響が世界中に広がっています。特に教育現場では様々な対応が求められている状況だと思われていますが、文化服装学院の現状についてお聞かせください。

コロナ禍を受けて、多くの学生が不安を抱えています。文化服装学院としては、学生、教職員の安全を第一に考え、密にならないよう環境に配慮しながら、学生の学びたいという意思を可能な限り反映させた教育環境の確保と整備を日々検討しています。

本来であれば、やはり対面授業を行いたいところではありますが、技術に特化した動画を制作しリモートで学べる環境を整えた上で、オンライン授業を導入しています。また学生本人の同意の上で、人数に配慮しながら個別の対応などもしています。

様々な対策を講じて行っている今の授業のやり方には、これまでになかった新たな可能性も感じています。教員が制作したオンライン授業用の動画を見ていますと、動画だからこその良さもあるように思います。また、このように試行錯誤し、工夫を凝らし良い策に導いていくという努力は決して無駄ではないと考えています。学院ならではの、創意工夫をして成長をしていくという精神を教職員、学生双方から感じています。

— コロナ禍において、学生への特別支援を行われたと伺いました。コロナウィルスの影響によって、家計が急変し学費の支払いに困窮する学生が多く出ています。このような学生たちに対する支援策として、自身の申請によって受給が可能な「文化服装学院 すみれ会緊急奨学金」を設け、早急な支援を行いました。また、全在校生を対象に後期の授業料を減額し、オンライン授業を受けるための準備金を一律で支給する策を取りました。このような状況下では、特に経済的に困窮している学生に対しての迅速な対応が必要とされるため、スピード感を持って対応を行いました。

— 2020年度以降に実施される学科再編、新設コースの設定についてお話しいただけますでしょうか。

2020年度入学生からを対象に、ファッション流通専門課程ファッション流通科2年次の進級コースとして「ファッションプロモーションコース」を新設しました。ファッション流通科は近年、非常に入学希望者が多い科でもあります。新設コースでは、ITの進化と共に変わっていくファッション業界に対し、デジタルメディアを活用したプロモーション力を習得することを目的としています。プレスや販売促進、Webマーケッターなどの職種を目指す学生に向けたもので、このコースの新設にあたっては、教員からの強い要望があり実現に至りました。教育現場の最前線にいる教員たちの声で生まれたコースということで、今の時代に強く求められる内容であることを私自身、強く感じています。

また、2020年度よりファッション工芸専門課程の学科を再編成しました。3年制のファッショングッズ基礎科を廃止し、入学と同時に専門科目を学ぶことができる2年制の帽子デザイン科、ジュエリーデザイン科、バッグデザイン科、シューズデザイン科の4科を新設しました。また3年次にはファッショングッズ専攻科を設置し、それぞれの科で専門的な技術を学んだ後に、希望する学生がさらに学ぶことができる学科編成にしています。

これは他の科にはない特徴で、専門的知識を優先して学ぶことができます。2年間、学校で学び、卒業後は各々が海外でさらなる技術を習得したり、仕事をしながら技術を磨いていくというスタイルです。ファッション工芸専門課程の学びは、どの科も各業界に特化した内容になっているので、より専門性を高めたカリキュラムを求める声が学生からも上がっており、その声を具現化する形になりました。

— 現在のすみれ会の活動について教えてください。

文化服装学院の大きな魅力は、卒業生の仲間が大勢いるということだと思います。その象徴が、卒業生全員が加入している同窓

「文化出身だよ」と言い合える仲間が 社会に大勢いるからこそ文化服装学院の魅力です

会組織「すみれ会」です。いまや会員数30万人を超える一大組織ですが、同窓生のつながりを重視した会であり、同時に卒業生や在校生、若手クリエイターの支援を目的に活動しています。すみれ会の会員は、在学中と同様に図書館やファッションリソースセンターなど文化学園の施設を利用することができ、ファッションに関する膨大な資料を閲覧することができます。また、毎年、文化祭期間中に同窓会を兼ねたパーティを学内で開催し、同門の先輩と後輩が出会える場所を設けています。ファッション業界に限らず、異業種であっても卒業生同士が気兼ねなくつながることができる、まさに「すみれ会」らしい場所づくりを目指しています。年々参加いただける方が増えており、私としてもとても喜ばしい限りです。

2020年度は新型コロナウイルスの影響で開催を見送ることとなりとても残念ですが、今後もこのイベントは大事にしていきたいと考えています。

また、平成28年度より「すみれ会奨学金制度」を設けています。これは成績優秀な在校生に対して、授業料など金銭面での支援を行うものです。例年、この奨学金の授与式は、入学式にて新入生の前で行っています。その目的としては、奨学生の先輩の姿を見てもらうことで、新入生それぞれの目標や励みになればという思いがあります。

このように、すみれ会では未来のファッション業界で活躍し、同時にすみれ会の会員として積極的に活動してくれる人材の育成に力を入れています。

—最後に、すみれ会員の皆さまへメッセージをお願いいたします。
文化服装学院の強みはやはり卒業生の存在だと私は思います。卒業生の皆さんが世界中で活躍しているからこそ、今の文化服装学院があります。学生たちも社会人になれば体感すると思いますが、社会というものは一人で生きていけるものではありません。様々な人とのつながりが重要であり、仕事をする上でも同じこと

がいえます。卒業生の皆さんには、すみれ会を介して良いつながりを持ち、卒業後も豊かな時間を過ごしてほしいと切に願っています。コロナ禍の影響で人と会えない状況が続いていますが、そんな今だからこそ、文化服装学院の仲間がいるという事実が心強く感じられると思います。

文化服装学院の卒業生は、仕事現場で「どこの学校の出身？」という話題になった時に、「文化の出身です!」と、堂々と答えるという話を聞いたことがあり、とてもうれしく感じました。また、そう答えることで「僕も、わたしも」とネットワークがつながっていきます。文化服装学院に通い、卒業したということに誇りを持って生きている卒業生が大勢いることが何よりであると感じると同時に、学校としてもっと頑張らなければと感じさせられます。この30万人のネットワークをより多くの卒業生、在校生に活用いただけるよう、今後ますますすみれ会を発展させていきたいと思っています。



相原幸子 先生

すみれ会名誉会長
文化服装学院学院長

すみれ会の活動

すみれ会奨学金 Scholarship

すみれ会では、平成28年度より成績が優秀な在校生を対象にした「文化服装学院すみれ会奨学金制度」を施行しております。会員の皆さまからのご寄付も一部活用させていただき、将来ファッション業界で活躍が期待される準会員を支援してまいります。

2020年度は、下記の学生4名が選抜されました。

例年であれば、入学式の壇上において授与式を執り行っておりましたが、

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響による入学式中止に伴い、授与式は割愛いたしました。



◆2020年度すみれ会奨学金受給者◆

ファッション流通専門課程

グローバルビジネスデザイン科4年 吉井凜さん

ファッション工科専門課程

ファッション高度専門士科4年 宮本瑞歩さん

ファッション工科専門課程

ファッション高度専門士科4年 田中優さん

ファッション工科専門課程

ファッション高度専門士科4年 松本もゆるさん

◀左から田中優さん、松本もゆるさん、宮本瑞歩さん、吉井凜さん

文化服装学院すみれ会 経済支援緊急奨学金

新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し、学費の支払いに困窮する学生の緊急支援を目的に、2020年6月「文化服装学院すみれ会 経済支援緊急奨学金」を設けました。

申請のあった学生のうち、住民税非課税世帯の学生7名に各20万円を、その他の対象学生49名に各10万円を給付いたしました。

寄付のお願い Donation

すみれ会は会費のみで運営しています。より円滑な会の運営が図れますよう、また、将来のファッション界を担う準会員の支援のため、卒業生の皆さまにはすみれ会の活動をご理解いただき寄付金のご協力をお願いいたたく存じます。なお、ご寄付いただきました方のご芳名は、次年度の会報に掲載をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

寄付金の募集要項

【寄付金の使途】

学業優秀で今後の活躍が期待される在校生へ授業料の一部を給付

【寄付金対象者】

すみれ会員、法人・企業

【寄付金の額】

1口1000円より3口以上。

なお、金額の多寡にかかわらずありがたく承ります。

※控除対象外になります

【募金期間】

募金期間は定めておりません。

継続的に募金活動を行ってまいります。

【申込み方法】

郵便振替にてお振込みください。

■振込先：ゆうちょ銀行振替口座

■口座記号番号：00150-7-766997

■口座名称(漢字)：すみれ会寄付金口

■口座名称(カナ)：スミレカイキフキングチ

※ゆうちょ銀行以外から振り込まれる場合は下記となります。

ゆうちょ銀行 019(ゼロイチキウ)支店

当座預金 口座番号 0766997

【問い合わせ先】

文化服装学院すみれ会 TEL:03-3299-2073

SUMIRE KAI PARTY

SUMIRE-KAI PARTY

2019年11月3日(日・祝)、文化学園J館体育館にて、すみれ会総会・同窓会パーティが開催されました。ファッション界で活躍される大先輩方から、2019年3月に卒業しファッション界に仲間入りをしたばかりの会員の方まで、多くの方々にご出席いただき大変華やかな会となりました。



写真左から、佐藤正樹氏(すみれ会会長)、相原幸子氏(すみれ会名誉会長)、濱田勝宏氏(文化学園理事長)



写真左: ケータリングを担当して下さったemportantの小高真也さん
(ファッション流通専攻科ビジネス専攻 卒)

写真右: 設営・装飾を担当して下さった一期一会の寺園篤史さん
(ファッションビジネス科 卒)



すみれ市



文化祭期間の11月3日(日・祝)・4日(月)、卒業生の企業よりご提供いただいた布地を販売する「すみれ市」を開催しました。一般の生地店では手に入りにくい貴重な布地が安価で購入できるとあり、毎年楽しみにされている方も多く、大変多くご来場をいただきました。2日間の売り上げ金は、すみれ会奨学金の一部として活用させていただきます。布地提供にご協力いただきました卒業生の皆さまには、心よりお礼申し上げます。

sumire salon - Alumni Information



RIOWA
リオワ

HP: <https://www.riowa-jp.com/>
Instagram: @riowa.jp



奥西 了和(オクニシ リョウワ)

文化服装学院 ファッション工芸専門課程バッグデザイン科卒業。都内の老舗紳士革小物のメーカーにて職人として修業をした後、バッグメーカーで革小物部門の立ち上げに携わる。10年以上職人として経験を積み、独立。



CITRON Bijoux

HP: <https://citron-bijoux.com/>
Instagram: @citronbijoux



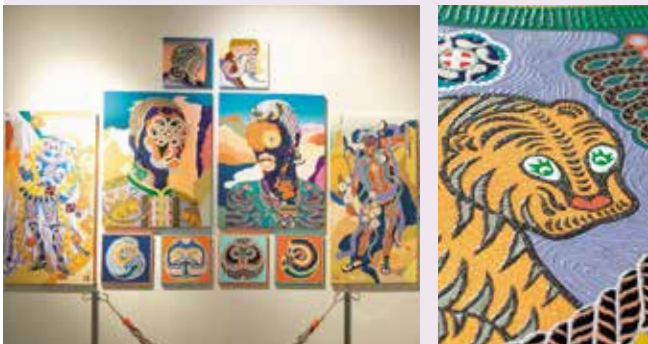
菊池 様子(キクチ ショウコ)

文化服装学院 ファッション流通専門課程ファッション流通科スタイリストコース卒業。2017年にコスチュームジュエリーブランドCITRON Bijouxを設立。

**Contemporary
Decorative Artist**

Kohei Kyomori

HP: www.kohei-kyomori.com
Instagram: @koheikyomori



京森 康平(キョウモリ コウヘイ)

2007年文化服装学院 ファッション工科専門課程アパレルデザイン科在学中に神戸ファッションコンテスト 特賞受賞。イタリア・ミラノに留学。2008年 ISTITUTO MARANGONI fashion master course 卒業。ヨーロッパでの海外留学の際、密度のある装飾美術に感銘を受け、作品の制作を始める。歴史やルーツを紐解くことで見えてくる、国境や民族間を越えた文化の響き合いを現代の装飾絵画として描き出す。

**Calalka
by Ayu**

Calalka
カラルカ

HP: <http://calalka.mystrikingly.com>
Instagram: @ayu_ishiwatari



石渡 彩友(イシワタリ アユ)

大学卒業後、文化服装学院 服飾専門課程服飾研究科に入学。服飾専攻科デザイン専攻卒業。アパレル企画やグラフィックデザイナーを経て、2014年より人形服作家「Calalka(カラルカ)」として作家活動を開始。現在は主にBlythe、momoko DOLL、リカちゃんなど、1:6ドールの人形服を手がけており、2018年Junie Moon 代官山店で個展「UNDER the BED」開催。2019年自身も参加した共著『DOLL'S CLOSET PAIR STYLE』発売。2020年著書『ニューレトロスタイルのドール・コーディネート・レシピ』発売。

すみれサロンは、文化祭期間中に同窓会員全員が利用することができるサロンです。ここでは、現在デザイナーやアーティストとして活躍している卒業生の活動を伝えるべく作品の展示やパネル掲示を行っています。あらためて、昨年度のすみれサロンで展示した卒業生の活動の一端をご紹介します。

BANSAN

BANSAN
バンサン

HP: bansan.tokyo
Instagram: @bansanbansan



伴 真由子(バン マユコ)

1984年 愛知県田原市出身
2006年 文化服装学院 服飾専門課程服飾専攻科デザイン専攻卒業
2008年 文化ファッション大学院大学卒業
2008年(株) アミナコレクション入社/世界の民族の伝統文化やファッションに特化したブランドの衣料企画担当
2012年 在職中、装苑賞佳作受賞 rooms賞受賞
2014年 国際交流基金ニューヨーク派遣プロジェクト参加
2015年 BANSANをスタート
2016年 外務省日本ブランド発信プロジェクト参加

heki

heki
ヘキ

HP: <https://heki-official.stores.jp>
Instagram: @heki_official



玉井 麻弥(タマイ マヤ)

2016年 文化服装学院 服飾専門課程服飾専攻科技術専攻卒業
2018年 ブランド立ち上げ
vint-age 展示会・ファッションショー参加
2019年 and made Market参加
ラフォーレ原宿 ポップアップ出店
rooms39出店

VERB

VERB
ヴァーヴ

HP: www.verbe.tokyo
Instagram: @verb_tokyo



小林 祐(コバヤシ ユウ)

2010年文化服装学院 服飾専門課程II部服装科卒業。株式会社ヨウジヤマモトにパタンナーとして入社。2016年独立。外注パタンナー、衣装制作等の業務を行う。2018年ブライダルブランド「verbe」立ち上げ。合同会社do-si設立。

安倍 悠治(アベ ユウジ)

2008年 文化服装学院 ファッション工科専門課程アパレルデザイン科卒業。
2008年 株式会社support surfaceにインターンを経て入社。デザインから生産まで一連の業務を兼任。2017年独立。外注パタンナー、衣装制作等の業務を行う。2018年ブライダルブランド「verbe」立ち上げ。合同会社do-si設立。

Stylist
Shogo Tachibana

HP: <http://shogotachibana.com>
Instagram: @shogo_tachibana



橘 昌吾(タチバナ ショウゴ)

文化服装学院 ファッション流通専門課程スタイリスト科を卒業後、2015年より活動を開始。ミュージシャン、タレント、ルックブック、ショー等のスタイリングやアートディレクション、展示会や写真展、ポップアップショップの空間演出も手がける。

会員の活躍

Successful Alumni

TAAKKのデザイナー森川拓野さん
「FASHION PRIZE OF TOKYO」を受賞



世界で活躍するファッションデザイナーの輩出を目指す「FASHION PRIZE OF TOKYO」の第3回受賞デザイナーに「ターク(TAAKK)」の森川拓野さんが選出されました。第1回は「マメ(mame、現:Mame Kurogouchi)」の黒河内真衣子さん、第2回は「オーラリー(AURALEE)」の岩井良太さんが選出されており、文化服装学院の卒業生が連続受賞しています。



森川拓野
TAAKKデザイナー

文化服装学院アパレルデザイン科卒業後、(株)イッセイミヤケ入社。ISSEY MIYAKE / ISSEY MIYAKE MEN パリ・コレクションの企画デザイン担当を経て独立。2012年 自身のブランドTAAKKを立ち上げる。2013年 SPRING/SUMMER COLLECTIONにてデビュー。2014年 東京新人ファッションデザイナー大賞受賞。2016年 TOKYO FASHION AWARD 2017受賞。2019年 FASHION PRIZE OF TOKYO受賞。

帽子・ヘッドピースデザイナーの日爪ノブキさん
「フランス国家最優秀職人章」を受賞



パリを拠点に活躍している帽子・ヘッドピースデザイナーの日爪ノブキさんが「フランス国家最優秀職人章(Meilleur Ouvrier de France、通称M.O.F.)」を受賞されました。「M.O.F.」とは、フランス政府が認めるフランス文化の最も優れた継承者にふさわしい高度な技術をもつ職人に授与される称号。日本の重要無形文化財認定制度(通称、人間国宝)に相当すると考えられており、4年ごとに審査が行われ、各部門の出場者が3年程の長い期間をかけて技術を競い合います。帽子職人部門での受賞は日本人初の快挙です。



日爪ノブキ
帽子・ヘッドピースデザイナー

文化服装学院を卒業後、渡伊。イタリアのメーカーよりアンダーウェアのデザイナーとして自身のブランドを発表し、ミラノなどイタリアの主要都市を中心にコレクションを発表する。帰国後、帽子/ヘッドピースデザインに可能性を広げ、国内外の舞台や映画、ミュージシャンの帽子/ヘッドピースのデザイン製作を数多く手がける。同時に、自身のファッションブランド「NOBUKI HIZUME」を展開している。また、2009年より拠点をパリに移し、名だたるグランメゾンのパリ・コレクション用の帽子を手がけている。2019年、フランス国家最優秀職人章(Meilleur Ouvriers de France : M.O.F.)に認定される。同年、自身の帽子ブランド「HIZUME」をスタートさせる。

創立以来、文化服装学院は約100年という歴史を持ち、巣立った卒業生は30万人を超えています。その多くがファッション界の第一線で活躍し、世界中へ日本のファッションの存在感を示しています。ここでは2019年度に各賞を受賞した4人の卒業生をご紹介します。

AURALEEのデザイナー岩井良太さん
「第37回 毎日ファッション大賞」新人賞を受賞



毎日新聞社が主催し、今回で第37回目を迎える「毎日ファッション大賞」。その新人賞・資生堂奨励賞を「オーラリー (AURALEE)」デザイナーの岩井良太さんが受賞されました。



岩井良太
AURALEEデザイナー

1983年兵庫県生まれ。大学卒業後、文化服装学院の夜間部に入学。在学中から、様々なブランドでパタンナーやデザイナーの経験を積んだ後、2015 SSにAURALEEを立ち上げる。2017年9月には、南青山にブランド初の直営店舗がOPEN。2018年にはFASHION PRIZE OF TOKYO 2019を受賞し、2019AWより、パリ・ファッション・ウィークにてコレクション発表を開始。2019年には、毎日ファッション大賞新人賞を受賞した。

IHNNのデザイナー インチソンさん
「第6回TOKYO FASHION AWARD」を受賞



東京を代表し世界で活躍するブランドになる可能性を秘めたファッションデザイナーを選出し、海外での活動をサポートするファッションアワード。「第6回TOKYO FASHION AWARD」の受賞者が発表され、「イン (IHNN)」のデザイナー、インチソンさんほか5ブランドが選出されました。



インチソン
IHNNデザイナー

2019 TOKYO FASHION AWARD 受賞
2018 Amazon Fashion Week 2019 S/S
2018 A/W2018 VISUAL Exhibition with 北村道子・鈴木親
2016 Tokyo 新人デザイナーファッション大賞 プロ部門 受賞
2016 ARTISTS for BARNEYS COLLECTION Rising Star
2015 IHNN 設立
2014 Month of design Ljubljana -IDENTITY 2014-
2013 Russia Admiralty Needle International Contest of Young Designers Finalist
2013 London Graduate Fashion Week International Show
2013 文化ファッション大学院大学卒業
2013 Bunka Fashion Graduate University Fashion Week (Japan)
2012-2013 イッセイミヤケ デザインスタジオ アーカイブ にてインターンシップ
2011 文化服装学院卒業

文化服装学院の今

BUNKA FASHION
COLLAGE

文化祭

BUNKA-SAI 2019

11.3-4-5

2019年度の文化祭は、11月3日(日・祝)・4日(月)・5日(火)で開催されました。

文化祭メインテーマは「繡(うつくし)」。

読み方を「うつくし」とすることで

「美しさを縫い込む」という意味をもたせています。



1

部ファッションショー

THEME



ブルガリア大使館や、エディー・パウアーなど、国内外の団体・企業からテキスタイル(生地)・資材をご提供いただき、デザイン、縫製、企画・演出、音効、照明、映像、モデルなどすべてに学生が携わり作り上げました。オープニングアクトにはアーティストの藤巻立樹さんがスペシャルゲストとして登場し、会場を沸かせました。

2

部ファッションショー

THEME

#FFFFFF

(shiro[白])



Ⅱ部(夜間部)に通う有志学生たちが企画・運営するⅡ部ショー。夜間部の学生たちは昼間は仕事、夜間は学びと時間的制約がある中、おのこのの学生がイメージする"白"を表現した作品を制作し、舞台上で発表しました。

I部、II部ファッションショーをはじめ、各科カリキュラム展示、バザー、野外ステージイベント、学生が運営するセレクトショップ「RE・TENT」の運営や販売など、日頃の学びの成果を様々な形で発表しました。ご来場いただいた、高校生や在校生の保護者の方々、企業の関係各位、そして大変多くの卒業生の皆さんにも楽しみながらご覧いただきました。



FASHION SHOW -ten-



FASHION SHOW -#FFFFF-



展示

EXHIBITION



各科の学びを紹介するカリキュラム展示。来場者に学生が説明をしたり、その場で制作・実演をしたりと、見て、聞いて、楽しめる工夫を凝らした展示となりました。



RE・TENT(リ・テント)

RE・TENT



ファッション流通科2年リテールプランニングコースによるセレクトショップ「RE・TENT(リ・テント)」。

小売り店舗の出店企画から、仕入れ、販売、店舗運営までを実践的に学ぶ場で、2019年度も学生企画の個性的なショップの数々が出店されました。テント内は終始多くの来場者でにぎわいをみせました。

催し物

ENTERTAINMENT



屋外ステージでのダンスコンテスト、学友会による模擬店、トークショーなど、様々な催し物も大盛況でした。



NEWS

新設コース、学科再編のお知らせ

ファッション 工芸 専門課程

2020年度より、3年制のファッショングッズ基礎科の募集を停止し、入学時より専門科目を学ぶことができる2年制の「帽子デザイン科」「ジュエリーデザイン科」「バッグデザイン科」「シューズデザイン科」の4科を新設。また、3年次にはさらに高度な技術の習得を目的とした「ファッショングッズ専攻科」を設置いたしました。



ファッション流通専門課程

2020年度より、ファッション流通科2年次進級コースとして、ファッションプロモーションコースを新設。デジタルメディアを活用したプロモーション力を養い、ファッション業界におけるプレスや販売促進、Webマーケッターなどを担う人材を育成してまいります。

TOPIC
01

東京スカイツリーの新ユニフォームを
学生がデザイン！

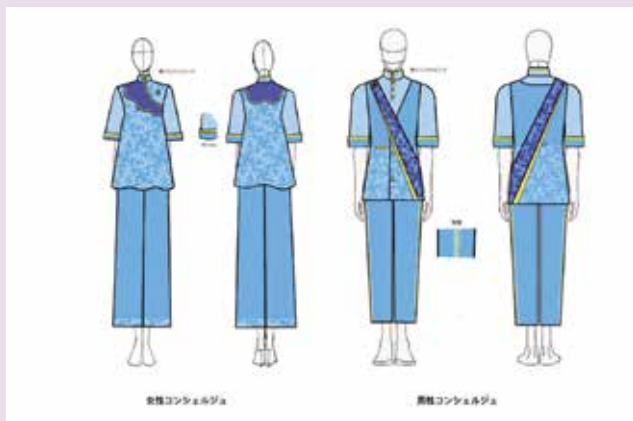
2020年10月1日(木)から東京スカイツリーのスタッフユニフォームがリニューアルされるにあたり、文化服装学院の学生を対象にデザインの募集が行われました。選考の結果、ファッション高度専門士科4年(2019年度)東山 恵さんのデザインが採用されました。日本・東京を代表するシンボルとして発信を続けていく東京スカイツリー。お立ち寄りの際はぜひスタッフのユニフォームにもご注目ください！



デザインした東山恵さん(写真中央)と、東京スカイツリーの新しいユニフォーム

TOPIC
02
映画『コンフィデンスマンJP プリンセス編』
学生が衣装をデザイン

アパレルデザイン科の在校生を対象に、映画『コンフィデンスマンJP プリンセス編』の衣装のデザインが公募され、最終審査の結果、アパレルデザイン科2年(2019年度)チョウ・ルイさんがデザインしたホテルスタッフの衣装デザインが採用され、劇中で着用されています。また、ファッション流通科スタイリストコースの在校生、卒業生が撮影に協力したほか、劇中でビビアン・スーさんが着用したドレスを文化学園ファッションリソースセンターが制作しました。



採用されたチョウ・ルイさんのデザイン画

COLLABORATIONS

産学連携企画として、在校生のデザインがユニフォームや衣装、アパレル商品などに採用されています。ここでは2019年度のコラボレーション企画の一部をご紹介します。

TOPIC
03

Eddie Bauer × 文化服装学院
IMD科商品化企画

2020年に創業100周年を迎えるエディー・バウアー。創業者のDNAをこれから先の未来へとつなげる100周年記念プロジェクトとして、インダストリアルマーチャンダイジング科3年生とのコラボ企画が実施されました。「アウトドアウエアを日常に」をメインメッセージに、同科の学生たちは5チームに分かれコンセプト、ターゲット層、デザインを提案し、サンプルを制作。最終審査で選ばれたチームのデザインが商品化されました。

FOR HIM



FOR HER



TOPIC
04
文化服装学院 卒業生が制作する「ellesse」
ビジュアル広告に在校生がモデルとして参加

株式会社ゴールドウィンが展開する「ellesse(エレッセ)」が、アーティストのとんだ林蘭さんとのコラボレーション商品「ellesse×TONDABAYASHIRAN」を販売。とんだ林蘭さんがディレクション、二宮ちえさんがスタイリングを担当した当コラボレーションのイメージビジュアルに、お二人の母校である文化服装学院の学生がモデルとして参加しています。
art director:とんだ林蘭(スタイリスト科卒業)
stylist:二宮ちえ(スタイリスト科卒業)



CONTESTS

ロンドン発のWebサイト「ザ・ビジネス・オブ・ファッション」をはじめ、
世界のファッションスクールランキングで上位に選ばれている文化服装学院。

日本の代表校として海外プログラムにも多数参加しています。

世界各地から選抜された学生たちと競い、共に学び将来のフィールドを広げています。

海外プログラム INTERNATIONAL PROJECTS



01

GUCCI 多文化デザイン 奨学金プログラム

グッチ・ローマ本社のクリエイティブ部門が、世界から才能のある人材を発掘することを目的に実施しているプロジェクト。世界各地から選ばれたファッションスクール10校の学生がイタリアで行われた最終審査に参加。文化服装学院からはバッグデザイン科3年生2名が参加し、うち1名が最優秀賞を受賞。グッチ・ローマ本社で1年間の有給インターンとして働くチャンスが与えられました。

ヨーロッパをはじめ、国内でも人気のデニムメーカー、ISKO社が主催する海外コンテスト。選ばれた学校のみに参加資格が与えられ、文化服装学院は2016年度から日本代表校として参加をしています。2019年度はアパレルデザイン科3年メンズデザインコースの学生がドイツ・ベルリンで開催された世界大会に参加。世界中から集まった学生たちと交流し、作品を発表しました。



02

ISKO 海外デニムコンテスト



03



イタリアの高級生地メーカー、ロロ・ピアーナ社が主催する、才能を持つ若手デザイナー発掘のためのコンテスト。セントラル・セント・マーチンズ(英)、パーソンズ(米)とならび、日本代表校として文化服装学院も参加。2019年度はニットデザイン科3年生2名がイタリアに招待され、各国から選抜された学生たちと現地で研修を受けプレゼンテーションを行いました。

イタリア Loro Piana
Knit Gameコンテスト

イタリア発のプロジェクト
FEEL THE YARN

世界の著名なデザイン、ファッションスクールからニットデザイナーを目指す学生を支援・育成するイタリア発のプロジェクト。毎年、日本からは唯一文化服装学院ニットデザイン科の学生が参加しています。2019年度も同科の学生がフィレンツェでヤーン関連の研修やセミナー、工場見学に参加。世界的なニット・ヤーンの見本市「Pitti Filati」にて作品を展示しました。



04

05



イギリス国内のファッション学校の卒業イベント「LONDON GRADUATE FASHION WEEK」。著名なデザイナーを多数輩出しており、業界からの注目度が非常に高いイベントの中で行われる「インターナショナル・ファッション・アワード」では、世界から選ばれた約30校の代表1名がコレクションを発表します。文化服装学院も毎年参加し、卒業コレクションの作品を披露しています。

LONDON GRADUATE
FASHION WEEK
卒業コレクション

CONTESTS

在校生が様々なコンテストに参加し、優秀な成績を収めています。

2019年度の受賞結果を一部ご紹介いたします。※在籍科・学年は2019年度現在

BUNKA FASHION COLLEGE FASHION CONTEST 文化服装学院ファッションコンテスト2019

文化服装学院、文化ファッション大学院大学、全国の連鎖校を対象としたファッションコンテスト、「文化服装学院ファッションコンテスト2019」の公開審査が開催され、各賞が発表されました。



デザイン部門

デザイン大賞

田中 優さん
(ファッション高度専門士科3年)

優秀賞

川部 竜雅さん
(アパレルデザイン科3年)

秀作賞

杉森 衣葉さん
(愛知文化服装専門学校)

佳作

杉山 久瑠美さん
(アパレルデザイン科3年)

佳作

松倉 遼子さん
(愛知文化服装専門学校)

日本旅行賞

依田 淳之介さん
(アパレルデザイン科2年)

DESIGN DEPARTMENT



服飾工芸部門

服飾工芸大賞

ジョン・ジュンヒさん(帽子・ジュエリーデザイン科3年)

佳作

薄羽 麻由さん(バッグデザイン科3年)

佳作

根岸 溪介さん(文化ファッション大学院大学)

FASHION ACCESSORIES AND TEXTILES DEPARTMENT



技術部門トワリスト

トワリスト大賞

ヨウ・シキンさん(アパレル技術科3年)

佳作

鈴木 里菜さん(アパレル技術科3年生産システムコース)

佳作

アー・イェンシュエンアンドレアさん(アパレル技術科2年)

TECHNIQUE DEPARTMENT TOLLISTE

第13回FORM PRESENTATION最優秀賞を受賞

ファッション系専門学校や大学の学生を対象に、テキスタイル・クリエイションへの関心と開発への啓発促進を目的にした、産学共同の人材育成事業「FORM PRESENTATION」。2019年度は、天池合織株式会社が開発したポリエステルオーガンジー「天女の羽衣」を取り上げ、「トランスペアレントな冬」をファッションテーマとして開催されました。

JFWジャパン・クリエイション2020にて、「13th FORM PRESENTATION」の作品展示発表が行われ、最終審査の結果、文化服装学院の学生作品が最優秀賞を受賞しました。



グループ名Ing(イング):尾久 樹さん(アパレルデザイン科3年)、須藤 真愛さん(アパレルデザイン科3年)、川部 竜雅さん(アパレルデザイン科3年)、宮本 瑞歩さん(アパレルデザイン科3年)、関根 知子さん(アパレルデザイン科3年メンズデザインコース)

「PAL FOUNDATION CUP」でグランプリを受賞

公益財団法人パル井上財団が主催するファッションビジネスを専攻する学生を対象とした、接客技術・知識を競うロールプレイングコンテスト「PAL FOUNDATION CUP(パルファウンダー ションカップ)」。

2019年度は東日本と西日本の予選を勝ち抜いた10名で決勝が行われ、ファッション流通科2年ショップスタイリストコースの川田乃愛さんがグランプリを受賞しました。



「AMOSTYLE BY Triumph」 在校生のデザインをもとに商品化

トリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社の直営店「AMOSTYLE BY Triumph(アモスタイル バイ トリンプ)」と文化服装学院のコンテスト形式のコラボレーション企画。グランプリを受賞した関根知子さん(アパレルデザイン科3年メンズデザインコース)のデザインが採用された商品が、限定コレクションとして発売されました。



東京消防庁 特別区(23区)酷暑対策用 新ユニフォームを学生がデザイン

東京消防庁と文化服装学院がコラボレーションし、東京消防庁特別区(23区)消防団の酷暑対策警戒用ユニフォームのデザインを募集するコンテストが行われました。

応募総数約300点のデザインの中から安藤幸希オリビアさん(服飾研究科)のデザインが採用され、東京消防庁出初式の屋内展示スペースにて新ユニフォームがお披露目されました。



インフォメーション

会計報告

2019年度文化服装学院すみれ会総会にて、2018年度収支の報告がなされ、可決されました。
2020年度予算案とともに、ここに掲載し会員の皆さまにご報告いたします。

2019年度 収支報告

期間：2019年4月1日～2020年3月31日

収入

項目	予算	決算
会費収入	12,305,000	12,278,000
事業収入	690,000	913,400
雑収入		2,694
寄付金収入		10,000
収入合計	12,995,000	13,204,094

支出

項目	予算	決算
会員証発行費	500,000	0
会報発行費	2,500,000	1,818,491
事業支出費	5,500,000	3,493,190
事務運営費	500,000	213,708
会議費	200,000	278,701
出張交通費	100,000	0
渉外費	0	20,000
報酬	0	55,685
慶弔費	200,000	
奨学金	1,550,000	1,550,000
会費返金		80,000
雑費	5,000	1,080
予備費	1,940,000	
支出合計	12,995,000	7,510,855
前期繰越剰余金		84,559,110
当期剰余金		5,693,239
次期繰越金		90,252,349

2020年度 予算案

期間：2020年4月1日～2021年3月31日

収入

項目	予算
会費収入	11,530,000
事業収入	0 ※1
繰越金より組入	5,000,000 ※2
合計	16,530,000

※1 文化祭中止のため

※2 経済支援緊急奨学金のため

支出

項目	予算
会員証発行費	300,000
会報発行費	2,500,000
事業支出費	2,500,000
事務運営費	500,000
会議費	280,000
出張交通費	50,000
慶弔費	200,000
雑費	5,000
奨学金	7,700,000
予備費	2,495,000
合計	16,530,000

2020年度文化服装学院すみれ会総会、
および同窓会パーティ開催中止のお知らせ

例年、文化服装学院すみれ会総会、および同窓会パーティを文化祭期間中に開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防およびリスクを考慮しまして、やむを得ず開催中止を決定いたしました。予定して下さっていた皆さまには心よりお詫び申し上げます。感染拡大防止のため、このような判断とさせて頂きましたこと、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

2020年度文化祭中止のお知らせ

例年、文化祭期間中にすみれサロン、すみれ市を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在校生、来場される皆さまの安全を考慮し、文化祭の開催を中止することとなりました。楽しみにされていた卒業生も多いことと存じますが、事情をご賢察の上、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

会員手続きについて

永久会員への更新、会員証の再発行、氏名・住所等の変更手続きは、文化服装学院すみれ会ウェブサイト、電話、または文化服装学院事務局窓口にて承ります。

文化服装学院すみれ会

ウェブサイト: <https://sumirekai.bunka-fc.ac.jp>

▶永久会員/会員証再発行/氏名・住所変更の手続き方法

- ①『会員特典・手続き』→『会員手続き』申し込みフォームに必要事項をご記入ください。
- ②永久会員への切り替え、会員証再発行の場合は、お申込み時に記載いただいたメールアドレス宛に、会員証発行費のお支払先をご案内いたします。
- ③会員証発行費のお支払いが確認でき次第、ご登録の住所に会員証を郵送いたします。

TEL:03-3299-2073(平日9:00～17:00)

窓口:文化服装学院 事務局B館L階

▶すみれ会Web会員登録のお願い

Web会員へは無料でご登録いただけます。Web会員の皆様には、ご登録いただいたメールアドレス宛に同窓会や文化祭などのイベント情報をお届けいたします。現在会員の皆様も、ぜひWeb会員へご登録をお願いいたします。

▶ウェブ会員登録方法

『会員特典・手続き』→『会員手続き』申込フォームの「Web会員申込み」にチェックを入れて必要事項をご記入ください。

▶会員手続きに関するお問い合わせ先

文化服装学院すみれ会事務局

〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 TEL:03-3299-2073

受付時間:9:00-17:00 土・日・祝日、年末年始、夏期休暇を除く

すみれ会会員特典

すみれ会では、会員特典をご用意しております。ご利用にあたっては、必ず「すみれ会会員証」をご提示ください。※特典情報は随時更新しております。最新情報はホームページをご覧ください。

特典① すみれ会報、ご案内の発送

同窓会誌「すみれ会報」を年に1回お送りいたします。
また文化祭等のイベント開催にあたり、DM発送にてご案内いたします。

特典② 文化学園施設利用

●文化学園図書館

※開館スケジュールについては、文化学園図書館ホームページ掲載の「図書館カレンダー(卒業生用)」をご確認ください。

TEL:03-3299-2395

HP: <https://lib.bunka.ac.jp/>

●文化学園服飾博物館

すみれ会会員証のご提示で、無料にて鑑賞いただけます。
展示期間、開館スケジュール等は文化学園服飾博物館のホームページをご確認ください。

TEL:03-3299-2387

HP: <https://museum.bunka.ac.jp/>

●文化学園ファッションリソースセンター

テキスタイル資料室、映像資料室がご利用いただけます。開室スケジュール等は文化学園ファッションリソースセンターのホームページをご確認ください。

HP: <https://www.bunka.ac.jp/frc/>

特典③ 文化学園事業利用の優待

●文化購買事業部

GAKUEN SHOP 表生地・手芸用品コーナー・書籍コーナー 商品を10%OFFでご購入いただけます。※一部対象外がございます。

文化学園遠藤記念館(F館)1F・プラザ棟1F

TEL:03-3299-2034

HP: <https://www.bunka-koubai.com/>

●文化出版局

雑誌『ミセス』『装苑』『ミセスのスタイルブック』の購読を10%OFFにてお申込みいただけます。下記ホームページまたはお電話よりお申込みください。

▼特別割引購読の申込

富士山マガジンサービス

URL: <https://www.fujisan.co.jp/campaign/bunka/>

フリーダイヤル:0120 223 223

クーポンコード:sumire2020

※クーポンコードがないと特別割引は適用されません。

●文化服装学院生涯学習

BUNKAファッション・オープンカレッジの入会金を半額にてお申込みいただけます。

TEL:03-3299-2233

HP: <http://lifelong.bunka-fc.ac.jp/>

●いいやま北竜温泉 文化北竜館

季節のお土産つき(地野菜など)で宿泊いただけます。

〒389-2322 長野県飯山市大字瑞穂 7332-2

TEL:0269(65)3121

HP: <http://www.bunkahokuryukan.com/>

●文化軽井沢山荘

〒389-0113 長野県北佐久郡軽井沢町レイクニュータウン

TEL:0267(48)1525

HP: <https://www.bunkakaruizawasansou.com/>

特典④ 協力企業によるサービス

●日本旅行文化学園内旅行コーナー

パッケージツアーを5%OFFでご利用いただけます。

日本旅行の全国店頭支店にてご対応いたします。

(WEB、電話でのお申込みは対象外)

国内/赤い風船

海外/マッハ、ベスト

※他社企画、WEBコレクション等、上記ブランド以外は対象外です。

※旧日本旅行OMCトラベルは除外となります。

※本人とそのご家族が対象です。

※その他各種割引との重複利用はできません。

※窓口にてすみれ会会員証をご提示ください。

●Bun Café

紫苑学生会館1階にある、テラスのある開放的なカフェです。

飲食代10%OFFでご利用いただけます。

東京都渋谷区代々木3-14-3

文化学園 紫苑学生会館 1F

TEL:03-5354-7515

会員特典にご協力いただける企業、お店を募集しています。

問い合わせ先:すみれ会事務局 TEL:03-3299-2073

会員証の提示で割引が可能になる、特典をつけてくださるなど、卒業生の皆さまのご好意をお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。

文化学園服飾博物館 2020年度後期 展示のご案内

EXHIBITION SCHEDULE

世界の藍

2020年

10月2日(金)～12月18日(金)



藍は世界中で古くから用いられている植物染料です。地域によって蓼藍、琉球藍、インド藍、大青など使用する植物の種類や染色法は異なりますが、比較的手軽に染めることができるため、基本の染料として広く親しまれてきました。そして、絞り染や型染、ろうけつ染といったさまざまな技法と組み合わせたり、他の色の染料を重ねて染めたりすることによって多彩な表情を見せます。本展では、日本、アジア、アフリカ、中米など、約40か国の藍染の衣装や布を紹介し、それぞれの地域で藍染がどのように取り入れられてきたのかを探ります。

開館時間：午前10時から午後4時30分

10/16、11/13は午後7時まで開館、入館は閉館の30分前まで

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、閉館日を変更する可能性があります。
当館ホームページにて最新情報をご確認の上ご来館ください。

休館日＝日曜・祝日

入館料＝一般500円、大学・高校生300円、小・中学生200円

※すみれ会員の方は会員証のご提示により無料でご覧いただけます。

文化学園服飾博物館
BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM

〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7
新宿文化クイントビル TEL:03-3299-2387

文化服装学院 教員採用情報

母校の文化服装学院で、将来のファッション界を担う後輩たちの「先生」として働いてみませんか？

文化服装学院は、明日のファッション業界を担う学生を育成する教員を募集しています。文化服装学院の特長の一つは、クラス担任制です。授業や学校生活をはじめ、学生を全面的にバックアップします。学生と共に歩み、喜び、悩み、成長できる職場です。学生の育成に献身的に取り組める方、学生の成長に喜びを感じられる方を歓迎します。

【募集概要】

常勤助手(服装造形部門/ファッション流通部門)

■募集人数：若干名

■就任時期：2021年4月1日(木)

■応募資格：学校が定める学歴条件を満たす者

※詳細は文化服装学院Webサイト 教員採用情報(助手) 参照

■応募方法

まずはメールでお問い合わせください。折り返し詳細をご連絡いたします。

■選考プロセス

書類選考→筆記(実技)試験→面接→内定(予定)

■応募書類提出締切

Ⅱ期：2020年11月18日(水)

Ⅲ期：2021年1月13日(水)

常勤講師(服装造形部門/ファッション流通部門)

■募集人数：若干名

■就任時期：2021年4月1日(木)

■応募資格：以下の①、および②、あるいは③の条件に該当する者

①学校が定める学歴条件を満たす者

②関連分野の技術・知識に長けた者

③過去に関連分野の指導経験がある者

※詳細は文化服装学院Webサイト 教員採用情報(講師) 参照

■応募方法

まずはメールでお問い合わせください。折り返し詳細をご連絡いたします。

■選考プロセス

書類選考→筆記(実技)試験→面接→内定(予定)

■応募書類提出締切：2020年11月11日(水)

《問い合わせ先》

文化服装学院 事務局 教務部 教務一課 高久/伊藤

TEL:03-3299-2250 / 2298 メールアドレス:gakuin-saiyou@bunka.ac.jp

《休校日や夏季・冬季休暇中はお問い合わせに返信できかねます。ご了承ください》

※応募資格に該当しない方は担当までお問い合わせください

※応募書類提出は郵送必着

※配属先については本学院にて決定

役員紹介



すみれ会会長
佐藤繊維株式会社
代表取締役

佐藤 正樹 氏



すみれ会名誉会長
文化服装学院 学院長

相原 幸子 氏



すみれ会副会長
株式会社オールファッションアート
研究所 代表取締役

松本 ルキ 氏



すみれ会副会長
株式会社LEWS纏(リユーズテン)
代表取締役

堀畑 裕之 氏



すみれ会副会長
元文化服装学院教授
元学院長補佐

工藤 勝江 氏



すみれ会副会長
文化服装学院 副学院長

野中 慶子 氏



スーパーバイザー
株式会社サーヴォ

花里 裕 氏

SUMIRE KAI

2020 | NO 60

第60号(2020年号) 2020年10月1日発行

発行人＝佐藤正樹

編集者＝すみれ会広報活動専門委員会

発行所＝文化服装学院すみれ会

〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 TEL:03-3299-2073

Art Direction & Design : 中井 拓(QUEEL DESIGN)

アパレルマーチャンダイジング科卒業



SUMIRE KAI